※令和４年度以降入学生用

学校番号	３０２４

令和８年度　(学)国際文化科

教科	(学)国際文化	科目	(学)韓国・朝鮮語	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	好きやねんハングル　Ⅰ（白帝社）						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・授業では毎回指定の教科書を用意してください。プリントなどの配布はありません。
・板書はノートではなく教科書に書き込みますが、単に板書を書き写すだけではなく講師の口頭の説明も含め学習のポイントや自分の気づきを書いてください。
・教科書にある練習問題は授業中に口頭でするが、必ず答えを書いて定着できるようにしましょう。
・家庭学習を行わずとも授業時間中に理解、応用、表現することで定着できるようにしましょう。

2　学習の到達目標

２年生の１年間学んだ韓国・朝鮮語の基礎的な知識、文法事項をさらに発展させ、自ら表現する能力を高める。その学びと活動を通して、韓国・朝鮮語が話されている諸地域の文化への理解度をより深める。ハングルの仕組みを理解する。
⑴　一般的に話される会話の形「―요」体の変化ルール理解し読み書きや話せるようになる。
⑵　過去形の変化ルール理解し読み書きや話せるようになる。
⑶　韓国・朝鮮語の様々な文法を理解し、身につけ自分の考えを表現できるようになる。
⑷　身につけた能力をもとにより深く文化を理解する機会を通して視野を広める。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・会話体の現在、過去形を自由自在に使えている。 ・疑問文、勧誘、可否の表現、命令形、禁止やお願いの表現を身につけている。 ・入門レベル以上の語彙を覚えている。	・身につけた様々な表現や語彙を駆使し、複雑な文章を構築できている。 ・より詳しく自分の考えを表現できている。 ・取得した能力をもって韓国朝鮮の文化に触れ、視野を広げている。	・教科書の会話をもとに自分に置き換えた会話を組み立てコミュニケーションできるようになる努力しようとしている。 ・身につけた能力をもって異文化への理解を深め広げる姿勢をもっている。 ・外部の大会などを通じて身につけた知識を使うことに積極的に取り組もうとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	会話体、疑問文、可否など	・日曜日にはギターの練習をします。(曜日や会話体の現在形) ・何を食べますか。(疑問文) ・京都駅で会いましょう。(勧誘形) ・舞妓さんを見ることができませんでした。(不可能) ***語彙*** 動詞、趣味、乗り物、食べ物、休日や旅先 ***文化*** 親戚が集まる日、ハルモニ(祖母)の話	a:複雑な文法の変換ができる。初・中級レベルの単語の暗記。 b:様々な文法の変換ルールを理解自在に駆使できる。 c:身につけた知識をもとにより複雑な気持ちを表現できる。	定期テスト	定期テスト	小テスト 確認テスト 発表
後期	意志、目標、時間、勧誘、禁止	・私の目標は全国大会に出ることです。(意志、進行形) ・韓国に旅行に行ってきました。(感嘆、否定形) ・何時にどこで会いましょうか。(目的、手段、勧誘形) ・来週まで覚えてください。(禁止、命令、お願い) ***語彙*** 数詞、形容詞、教室以外の場面、文化活動 ***文化*** 韓国のお正月遊び、チマチョゴリ体験	a:簡単な文章が書ける。単語の暗記。 b:身につけた知識レベルの会話ができる。 c:作文大会や検定準備の取り組む姿勢	定期テスト	定期テスト 発表	レポート提出 発表

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度